



発行 静岡県立浜松西高等学校同窓会
 発行人 御室健一郎
 町田 晃
 編集 同窓会報編集委員会
 電話 053(456)0662
 印刷 デザインルーム・スカイ

発行部数 10,000部
 浜松二中卒業生 2,041名
 浜松西高卒業生 25,750名
 (内女子5,990名)
 内2年度卒業生239名(108名)

「新春の集い」は中止に 断腸の思いではありませんが

同窓会会長 御室 健一郎



6月に開催されました同窓会総会にて、コロナの影響が不透明なことから今回(2022年)も「新春の集い」は中止とする旨の決定がなされました。コロナ禍における新しい様式での開催等を検討するなど、今年こそはとの思いから諸々の準備を進めてきた幹事学年(高53回卒)の皆様、年に一度の旧友との再会を楽しみにしている同窓生の皆様や毎年「新春の集い」にご協賛いただいている皆様のお気持ちを察すると断腸の思いではありますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

東京五輪に向けた選手たちのひたむきな姿に心打たれて今回の挨拶の内容を考えている最中に、東京五輪が開幕しました。卓球水谷・伊藤選手の

金メダル獲得、女子ソフトボール13年越しの連覇など、連日、日本選手の活躍が報道されています。私もテレビの前に釘付けになり、世界のトップアスリート達の躍動に一喜一憂している一人です。

今回の五輪は、ほとんどの競技が無観客で行われています。当初は「無観客の五輪は盛り上がるのだろうか」などと思っていました。観客の声援がないことがかえって、選手の表情、息遣いや現場の臨場感を際立たせ、テレビ画面に引き込まれるような感覚さえ覚えました。眺まなじり)を決する緊張感、厳しい練習に裏打ちされた自信、期待を一身に背負う誇りや不安等、試合に臨む選手の表情からは様々な感情が伝わりますが、どの選手も必死の努力でたどり着いた夢の舞台を「楽しんでる」ように見えました。それはプレッシャーから逃げようとする(楽をする)のではなく、プレッシャーを受け入れ自分の意思で行動することから得られる「楽しさ」です。「楽しさとは他人から与えられるものではなく、自ら創り出すものである」そんな選手達のひたむきな姿に心打たれ気持ちを揺り動かされた方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。今回は本校

出身者の選手の出場は叶いませんでしたが、いつの日か再び、本校出身者が五輪の舞台で活躍されることを大いに期待しています。

さて次回の夏の五輪は2024年にパリで開催されますが、2024年は浜松西高創立100周年と本校にとって大きな節目の年となります。同窓生の皆様お一人お一人の思い出が詰まった100年をお祝いするとともに、次の100年へと繋げていく記念の事業を構想しています。引き続き、同窓会活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶と致します。



西高出身のオリンピックたちの碑

変化する時代の北極星

校長 織田 敦



同窓会の皆様には、本校の教育活動に対して、日頃から多大なる御理解と御協力を賜りますことを心から感謝申し上げます。

今年度の文化祭のテーマは「時代」でした。変化が加速している時代、コロナ禍の影響により当たり前が当たり前ではなくなった時代、その中で人々の意識の在り方が問われている時代。まさに生徒の問題意識を表現したテーマであったと思います。

生徒は様々なことが変化していく時代に生きています。例えば、本校中等部には一人一台タブレットが入り、授業や総合的な学習の時間で使用されています。これからの中高生は「教室の机の上に一人一台パソコン」という環境で

学ぶことが当たり前になっていきます。学校の外でも、科学技術の急速な進歩や社会構造の変化、地球環境の激変などにより、世界の人々の暮らしや社会の在り様が大きく変わっていくことでしょう。

変化が大きい時代の中で、いや、変化が大きい時代だからこそ、本校が守り続けている校訓「知・仁・勇」の持つ意味は、これまで以上に重要になっていくのではないのでしょうか。ご存じのとおり、「知」は「高い知性」、「仁」は「豊かな心」、「勇」は「たくましい力」を表しています。本校では日々の授業、特別活動、部活動等を通じて、生徒にこの3つの力、心を育成する教育を脈々と行ってまいりました。そのことが本校の価値を高め、地域において信頼される学校であり続けてきた大きな要因だと感じております。

「知・仁・勇」は本校の北極星であり、同じ場所ので輝き続け、私たちが進むべき方向を示してくれます。これからも魅力ある学校であり続けるために、私たち教職員は、その輝きを常に見つめ、生徒の教育に臨む所存です。同窓会の皆様には、今後とも変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。



「2022年新春の集い」記念誌の発行のみとし、集合しての同窓会は中止！
 本活動にご理解ご賛同頂ける企業様につきましては例年と変わらぬご協賛をお願い致します。

代表幹事 加藤 芳幸



日頃は新春の集い準備活動にご協力頂き感謝申し上げます。2020年2月頃から新型コロナウイルス感染症が日本でも猛威を振るい始め、昨年の2021年新春の集いは断腸の思いでありましたが、総会において中止と決議がなされました。同窓生の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの影響を受けて大変なご苦勞をされておられる方もいらっしゃるかと案じております。

2022年新春の集いにつきましては、現時点においては例年同様の同窓生が集合して開催が出来る状況ではないと判断し、1月2日に開催する集合型の同窓会は中止し、記念誌のみ作成・配布する活動内容に変更させて頂くこととなりました。本決定をするにあたって、「規模を縮小した集い」オン

ラインでの集い」等、様々な方法を模索しましたが、幹事としては万一のリスクを避けながら喜んで頂ける方法を検討した結果、例年配布する記念誌を全力で作成し、還暦生2学年(高31回卒・32回卒)の皆様はじめ、西高を愛する皆様へ配布する活動とさせて頂くこととなりました。

2022年新春の集いのテーマは2021年と同様「誇(ほこり)」といたしました。苦境に立たされた今こそ、私たち同窓生が結束し、西高卒業生としての誇りをもって先頭に立ってコロナを乗り越えていきましょう！そんな想いが込められています。

現在、記念誌作成に向け、還暦生の先輩・同級生に取材をしておりますが、連絡を取りお話しさせて頂く皆様はとも頼もしく、本当に誇りに思う日々です。

縁あって任せて頂いた代表幹事として、2021年は思うような活動が出来ませんでした。2022年新春に最高の記念誌を皆様にお届けが出来ますよう、幹事生高53回卒の同期の仲間たちと一緒に全力で取り組んでまいります。



高53回卒 工藤 昌子 作書

第53回 活躍する同窓生

児童福祉施設で、障害児の発達・自立支援に従事

伊藤 大樹



— 現在のお仕事は？ —

浜松市西区で、社会福祉法人和光会の運営する福祉型障害児入所施設「あさざり」に、児童指導員として勤務しています。

「あさざり」には、発達に何らかの課題があり、なおかつ家庭での養育が困難な、18歳までの児童が入所しています。それぞれの抱える課題は様々であり、各児童の発達に合わせた支援を行います。少しでも成長できる様に職員同士が連携を行い、支援にあたっています。

また、この施設に入所できるのは原則18歳までとなるため、退所後は家庭に帰るか自立した生活を行うこととなります。どのような進路を選択するかを一緒に考え、そのために必要になる自立支援を行うことも重要な役割になりました。その一環で、職業指導として、就労に向けて必要な作業やコミュニケーションなどのスキルや生活に必要な知識の習得を目指す支援も担当させて頂いていただいております。

日々子ども達の成長を感じ、また自分も成長させてもらっていると実感しています。

— 西高時代の思い出は？ —

生徒会活動や文化祭の実行委員をさせて頂いたことです。生徒会では気の合う仲間と一緒に、いつも笑い合いながら活動していたことを覚えています。文化祭の実行委員は、生徒会以上に個性的なメンバーが集まっていたので、どちらも毎日遅くまで残って活動をしていました。大変だと感じた事も一度もなく、楽しく活動していたと記憶しています。

— 今後の目標は？ —

現在、社会福祉士の資格取得を目指して勉強をしています。利用者本人だけでなく、その家族や周囲の人々への支援の必要性や、各関係機関との連携の重要性を痛感したからです。職業指導担当として、スキルや知識の習得にとどまらず、広い視野を持って、将来の進路まで見据えた支援をすることができるようになることが目標です。

今思えば、組織の中で自分のできることは何か考えることをやり抜くことを学ばせていただいたのは、こういった活動があったからこそだと感じます。

卒業アルバム



同窓会幹事として再び母校に携われる喜び

工藤 昌子



— 現在のお仕事は？ —

地域金融機関の職員として、資産運用・相続等の相談業務や窓口手続きの書類チェック業務等を行っています。「人生100年時代」と言われる中、寿命と一緒に金の寿命も伸ばしていくにはどのような資産形成、運用が必要なのかをお客様と一緒に考え、ご要望やライフプランに合わせたアドバイス心がけています。金融業務の幅広さ奥深さゆえに勉強の日々ですが、今後

— 西高時代の思い出は？ —

も知識と経験を更に積み、身近な金融アドバイザーとして地域の皆様のお役に立てる職員を目指しています。

— 今後の目標は？ —

卒業して21年。同窓会幹事として、再び母校に携われることをとても嬉しく思っています。現在、記念誌の作成・配布のため、高53回卒のメンバー皆で奮闘しているところです。大人になり皆それぞれの道を歩んでいる中で、久しぶりに再会し一つの目標に向かって集結できる喜びを感じつつ、このコロナ禍における同窓会、新春の集いの在り方とは何であるかを模索しながら少しずつ形にしています。活動を通じて出会うさまざまな方々とのご縁を大切にしながら、伝統のバトンの後輩へ繋げていきたいと思っています。

出逢いに感謝して 地元へ恩返しを

三浦 雅代



— 現在のお仕事は？ —

浜松市の職員として、小学校で教員をしています。それぞれ違う環境で育ってきた子供たちと一つの教室で学

ぶことは、毎日が発見です。分かったときの嬉しさ、できるようになったときの喜びと一緒に感じる事ができました。この仕事にやりがいを感じます。また、学級の子供たちや保護者の方々と関わっていくことを通して、自分も成長できると感じています。

私が大学を卒業して最初に勤務したのは、大阪府の小学校でした。大阪も大好きな場所でしたが、生まれ育った浜松で教員がしたいという気持ちが強くなり、地元へ戻ってくることに決めました。当時、遠州弁で会話をする可愛い子供たちに、とても癒されて安心したのを覚えています。

— 西高時代の思い出は？ —

高校時代は、たくさんの「人」との出逢いがありました。クラスメート。部活動の仲間。先輩や先生方。その出逢いが、今の自分を支えてくれていて、今も繋がっています。

吹奏楽部で過ごした時間は、本当に濃いものでした。五階の教室での練習や、西山寮での合宿。はまホールでの定期演奏会。自分たちで作り上げた舞台の幕が下りると、溢れてくる涙。当時の演奏会のビデオがまだ残っています。今では恥ずかしくて見ることができない程ですが、そんな青春ドラマのような経験をさせていただいたことに、感謝です。

— 今後の目標は？ —

現在は育休中ですが、仕事復帰をしたときに、学校現場で働きながら育児をしていく不安は大きいです。しかし、

お世話になった先生

母校の中高一貫校への転換

浜松西高校元教諭 大瀬 裕市



また新たな「人」との出逢いにより自分を耕していけると思うと、楽しみでもありません。時間の使い方を工夫しながら、仕事も子育ても少しゆとりを持ってすることが、今後の目標です。そして、自分の周りの「人」を大切にできる子供たちを育てていきたいと思っています。

私は、浜松西高校同窓生(高29回卒)であるとともに1995年4月から13年間教師として浜松西高校に勤務をしました。今年度の幹事の皆さんから同窓会報への原稿の依頼をいただき、貴重な機会をいただいたことに感謝をいたします。当時の浜西は、理数科1クラス・普通科9クラスを抱える進学校であり、昔ながらの浜西の雰囲気を保っている学校でした。ただし、進学校としては課題を抱えているのも事実でした。地元の塾からは高校入学者の偏差値で浜松市内の某私学に逆転をされていると指摘され、また県外有名私学が浜松に進出するという噂があり、浜松

を代表する進学校から転落するのではないかとという危機感がありました。そうした状況の中で文部科学省の方針として公立中高一貫校が推奨され、浜西も併設型の中高一貫校に転換するよう県教育委員会から指示されました。当初は中高一貫2クラス・高校入学4クラスの想定であり、今までの浜西の雰囲気が変わることはないと言明されました。しかし、実際に発表されたのは中高一貫4クラス・高校入学1クラスであり、さらに将来的には中等教育学校を視野に入れるようにとされ、これは大変なことになったと感じました。

不安はあったものの準備は開始され、当時の管理職からは浜松北高校と並ぶツインタワーとなる学校にしたいと方針が示されました。ただし、受験に特化した学校を作るのではなく、大きな志を持った生徒を育てること、そうすれば進学実績は自然と上昇するであろうという考えでした。数学と理科では高校のレベルの内容を中学生に教えること、夢を大きく育てること等を決めました。修学旅行でも早いうちから生徒の心を揺さぶるために中学校の段階で海外に行くことにし、制服も変更しました。

一方でいくつかの部活動を廃止せざるをえなかったという現実もありました。失ったもの以上の成果を中高一貫校となった母校があげていくことを信じ、母校のさらなる発展を期待したいと思えます。幹事年度の皆さんも難しい社会情勢に負けないで母校・社会・家族のために貢献してください。

還暦を迎えた 先輩たちの言葉

還暦を迎えて「絆を考える」

高三十一回卒 大澤 重義



還暦というはずいぶん遠い存在のようになってきましたが、いざその年齢になってみるとあっという間のような感じがします。私が西高に入学したころは、西高―静大―教員という道があり、教職を目指していた私は、その流れに乗ったようなものでした。

教職について、大切にしてきたことは、子ども理解(他者理解)です。学校は多くの子供たちが学ぶところですが、そこでは様々なトラブルや課題が発生します。そんなときに、表面的な表れを見て対応すると、多くの場合失敗します。私もたくさん失敗を重ねてきました。そして、学んだことは、「行動の裏側には必ず理由がある」ということです。例えば、うそをつくという行動の多くは、自分を守るために行います。しかし、大切な人を守ったり、全体のことを考えたりしてうそをつくこともあります。自分の見方を知り、相手をよく見つけ、背景を多面的に考えること

により適切な対応ができるようになります。今、SNSの広がりやコロナ禍の中で社会の分断が心配されています。こういった時代だからこそ、他者理解を深め、人と人の絆を強めていく必要があると思っています。

三十八歳のときに、西高新春の集いの幹事を任せられ、百五十人以上の同級生の協力で開催することができました。活動を通じ、多くの同級生・同窓生が多面で活躍されていることを知りました。そういった同級生・同窓生の活躍が自分の日々のエネルギーになってきました。第二の人生に向け、今までの絆の上に、新たな絆を作っていきたいと思っています。



卒業アルバムより 38HRのクラスメイト

還暦によせて 「光輝く高齢者を目指そう」

高三十二回卒 森 真人



還暦…、干支・十干の組み合わせが60年で一巡することから「暦が還る」と言い表すのだそうです。昨年まで、先輩方に「おめでとうございます」などとお祝いをしてきたものの、還暦の意味や謂れを意識することは全くありませんでした。鎌倉時代から伝わる風習だという説もあり、当時の60歳はきわめて長寿であったため、皆でお祝いしたというこららしいです。70歳：古希、77歳：喜寿、80歳：傘寿、88歳：米寿、90歳：卒寿、99歳：白寿、100歳：百寿、120歳：大還暦…、と長寿の節目は数々ありますが、現代の平均寿命を考えれば、米寿・卒寿あたりで長生きという感じでしょうか。

今年還暦を迎えた高32回生、まだまだ現役で仕事を続けていく仲間ばかりのようです。還暦→定年→年金生活という仕組み(う)は、とくに崩壊し、浜松市は「70歳現役都市」を標榜しています。還暦で「赤いチャンチャン」を着るのは、暦が一周して「赤ちゃんに還る」という意味ですが、現代の60歳は赤ちゃんのように周囲に面倒を見てもら

いながら生活していくわけにはいきません。赤ちゃんのような初々しさを持つて何か新しいことへチャレンジしていく気力が求められます。

仕事のことを新たな気持ちで考えてみる。趣味や習い事などを今まで以上に追求したり、何か新しいことに挑戦したりする。還暦を節目に自分の周囲を見つめ直して、これから先の人生を豊かなものにしていきます。

誰もがいつかは後期高齢者。高32回生のみならず、どんな年をとっても、なにか熱中できるものがある、光輝くお爺ちゃん・お婆ちゃんになっていくうじゃありませんか。還暦を迎える今年、みんなで光輝高齢者を目指しましょう。



卒業アルバムより 高校時代所属していた硬式テニス部メンバー

伝統に支えられ新時代へ 創立100周年

浜松西高等学校は、令和6年度創立100周年を迎えます。その記念すべき年を祝い、広く社会に発信するため、同窓会、後援会、学校関係者による記念事業準備委員会が組織され、検討を重ねています。全体のコンセプトは「感謝・応援・挑戦」。先人が築いた歴史に「感謝」、現在を共に生きる人々への「応援」、未来への「挑戦」という視点です。

創立100周年記念事業 準備委員会メンバー

- ▼同窓会
 - 会長…御室健一郎(委員長)
 - 副会長…小田木基行、斉藤薫、薩川敏、竹内良訓、筒井計臣
 - 会計…辻村昌彦
- ▼後援会
 - 会長…鈴木俊宏(副委員長)
 - 副会長…長野正弘、内山正吾
- ▼PTA
 - 会長…佐野憲(副委員長)
 - 副会長…平出謙介、松坂直和、鈴木貴昭、宮地完登
- ▼学校
 - 校長…織田敦(副委員長)
 - 副校長…野島典子
 - 教頭(高)…神村佳代
 - 教頭(中)…御手洗実
 - 総務主任…佐藤光
 - 事務長…永井仁

クラブ活動報告

ボート部近況報告

令和3年3月26日から28日まで、天竜ボート場にて全国選抜大会が行われました。昨年度は新型コロナウイルスの影響により中止となり、2年ぶりの開催となりました。本校ボート部からは過去最多となる4クルー(女子シングルスカル、男・女ダブルスカル、男子舵手付クオドルプル)が出場し、男子ダブルスカルが銀メダル、女子ダブルスカルが4位入賞(ともに同種目過去最高位)でした。

令和3年5月29、30日には佐鳴湖漕艇場にて県高校総体二次予選が行われ、男・女ダブルスカルが優勝し、8月16日から19日に福井県久々子湖漕艇場で行われる全国総体への出場権を獲得しました。なお、男子ダブルスカルの優勝と併せて、男子舵手付クオドルプルが2位、男子シングルスカルが4位に入賞したことから、男子総合優勝(12年ぶり2回目)となりました。

他校に比べて部員数が少ない中、ミーティングを重ねながら生徒が練習メニューを組み立てて活動しています。主体的な活動が人間力の向上を促し、競技力の向上にもつながると信じて、これからも誠実に活動していきます。



浜西同窓ゴルフ大会

第45回浜松西高同窓ゴルフ大会が行われました

2021年5月19日 曇天のち雨、浜名湖カントリークラブにて恒例のゴルフ大会が行われました。

あいにくの天気でしたが、懐かしい顔が揃い、各組意気揚々とスタート。総勢113名の同窓生がゴルフを楽しみました。

幹事を務めた高42回卒の皆さん、お疲れ様でした。またこのコンペに協賛してくれた企業様、心より感謝申し上げます。

コロナ禍がなかなか収束しない状況で、コンペ後の表彰式も懇親会もできませんでしたが、次回も参加を心よりお待ちしております。



創立記念講演

11月20日、笠井先輩を迎えて浜松西高校創立記念講演会が開催されました

2020年11月20日浜松西高校創立記念講演会が行われました。毎年活躍する同窓生が講師として招かれます。

今年の高31回卒 医師の笠井裕一氏。現在ミャンマーに新しい病院を作るといふ活動をしています。

今回は体育館ではなく、予め録画された映像が配信され、教室で聴講するという初のスタイルでコロナ時代ならではの講演会となりました。イラストや、写真を交えたわかりやすいお話で生徒は目を輝かせて聞いていました。

演題

「学び・挑戦・成長」のサイクルを回そう!

自己紹介

笠井裕一(59歳)、昭和36年に浜松市に生まれ、昭和54年に浜松西高校卒業、昭和55年に三重大学医学部に入學し、昭和61年に同大学卒業。脊椎外科(首・背中・腰の手術をする医師)となり、平成22年から三重大学脊椎外科・医用工学講座の教授を務め、平成31年に退職。令和1年にミャンマーへ移住し、石井病院ASEAN事業部に所属して、ミャンマーに新しい国際基準の病院を作るための活動をする傍ら、ヤンゴン第一医科大学名誉教授(ミャンマー)、コンケン大学国際教授(タイ)と

して、ミャンマーとタイで医学教育も行っていきます。

講演を終えての演者感想

久しぶりに懐かしい母校を訪れ、後輩たちに少しでもエールを送りたいという思いで、講演させていただきました。私の話を聞いて、医師になってみたいとか、海外で活躍してみたい、と思う若者が一人でも増えれば幸いです。



令和3年度 浜松西高同窓会総会が開催されました

6月5日(土)グランドホテル浜松にて同窓会総会を開催。御室会長、織田校長の挨拶のあと令和2年度事業と会計報告がありました。令和3年度の事業報告では今年に引き続き、現時点ではコロナの影響が不透明な状況から判断し来年1月2日の新春の集いは中止とすることにしますとのこと。誠に残念ではありますが、一刻も早いコロナ感染症が終息することを願っております。

●議事

- 1 令和2年度同窓会事業報告
2 令和2年度同窓会一般会計決算報告、および同監査報告
3 「2021年新春の集い」事業報告、決算報告および監査報告
4 会則の変更(第19条入会金の増額)
5 令和3年度同窓会事業計画
6 令和3年度同窓会一般会計予算
7 「2022年新春の集い」事業計画

●その他、予定されている今後のスケジュールの報告

- 同窓会主催 創立記念講演会
11月19日(金) 西高体育館 講師未定
●慰霊祭
11月13日(土) 西高慰霊碑前



令和2年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計 決算書

Table with financial data for the 2022 fiscal year, including items like '前期繰越金' (11,454,408円) and '収入総額' (5,862,854円).

収入の部

(単位:円)

Table of income items for the 2022 fiscal year, including '前期繰越金', '入会金', '基金利子配分金', '雑収入', and 'エアコン設備使用料'.

支出の部

Table of expense items for the 2022 fiscal year, including '事務費', '事務局費', '需用費', '会議費', '総会費', '役員会費', '事業費', '会報費', '助成費', '予備費', and '新春の集い'.

以上のとおり報告します。

令和3年3月31日 静岡県立浜松西高等学校同窓会 会長 御室 健一郎 会計 辻村 昌彦

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

令和3年4月27日 会計監査 前田 米蔵 監査 大塚 哲雄

令和3年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計 予算書(案)

Table with financial data for the 2023 fiscal year budget, including '前期繰越金' (16,382,501円) and '収入総額' (4,960,800円).

収入の部

(単位:円)

Table of income items for the 2023 fiscal year budget, including '前期繰越金', '入会金', '基金利子配分金', '雑収入', and 'エアコン設備使用料'.

支出の部

Table of expense items for the 2023 fiscal year budget, including '事務費', '事務局費', '需用費', '会議費', '総会費', '役員会費', '事業費', '会報費', '助成費', '予備費', and '次期繰越金'.

※科目間の流用を認める

静岡県へのU・Iターン就職を希望する方へ

静岡 U・Iターン就職サポートセンター

静岡県の就職支援事業です。

就職相談員が内定獲得まで無料でサポートします!



就職支援内容
就職相談・キャリアカウンセリング
履歴書・エントリーシートの添削
面接練習 / 企業情報の提供
就職セミナー・イベントの開催など

就職個別相談・イベント等予約・会員登録専用ページ



学生



社会人

URL https://shizuoka-de.com/wordpress/info/

暫定版 | 令和2年度(令和3年4月進学) 入試結果概要

2021/4/27 現在

1 入試合格状況(推薦、AO等含む)

Table with 3 columns: 令和3年度, 令和2年度, 令和元(平成31)年度. Rows include 国公立大, 私立四大, 国公立短大, 管外大学, 各種専門学校.

2 国公立大学

Large table listing 100+ national/public universities with columns for 令和3年度, 令和2年度, 令和元(平成31)年度. Includes schools like 北見工業大, 室蘭工業大, 北海道大, etc.

Table listing private universities with columns for 令和3年度, 令和2年度, 令和元(平成31)年度. Includes schools like 東京都立大, 横浜国立大, 富山県立大, etc.

3 私立大学(抜粋)

Table listing private universities (excerpt) with columns for 令和3年度, 令和2年度, 令和元(平成31)年度. Includes schools like 慶應義塾大, 早稲田大, 明治大, etc.

Summary table for 医学部医学科 (2,3と重複掲載) with columns for 令和3年度, 令和2年度, 令和元(平成31)年度. Rows include 国公立, 私立(含自治医等), 管外大学, 気象大学校.

西山賞の授与式

11月14日の土曜日に西山賞の授賞式がありました。弦楽部は、11月8日千葉県文化会館で行われた第9回ソロ&アンサンブルコンテスト全国大会出場(同窓会より激励金を授与しました。あわせて昨年同様に慰霊祭も滞りなく行われました。



西山賞受賞者

西山賞とは「全国レベルで特に優れた業績・功績を挙げた生徒」に対して、4部門別(文化芸術部門、スポーツ部門、善行部門、化学部門)に同窓会から卒業時に授与されるものです。

中等部

●スポーツ部門

- ▼テニス 男子テニス部(団体) 畑 碧音(ダブルス)

▼水泳

- 秋山 紗希(400mリレー他)
- 尾上 夏野(400mリレー他)

●科学部門(第20回創造ものづくり)

- 宮下 和真
- 奥村 哲成
- 河辺 華佳

●文化芸術部門

英語科(第10回全国中学生英語デベート大会準優勝)

高等部

●スポーツ部門

- ▼陸上 仲子 綾乃(800m他) 伊藤 芽生(女子1600mリレー)

▼テニス

- 畑 瑠香(シングルス・ダブルス)
- 鈴木 珠音(ダブルス)

▼ポート

- 宮島 史奈(クオドルプル)
- 影原 風音(クオドルプル)
- 小楠 龍之介(クオドルプル)
- 松本 和樹(クオドルプル)

▼弓道

- 瀧 颯太

▼卓球

- 高木 あかね(シングルス)

●科学部門

- ▼科学部(WRO JAPAN出場)

▼パソコン

- 廣田 凱士(パソコン入力コンクール)

●文化芸術部門

- ▼弦楽部(団体)

- ▼国際文化部(団体デベート大会3名)

- 児玉 あこ(読書感想文)

▼百人一首

- 藤田 奏(読手コンクール)

叙勲 おめでとつじやいます

令和2年秋と令和3年春の叙勲を受章した浜松西高の卒業生をご紹介します。

令和2年秋叙勲

●旭日双光章

- ▼地方自治功勞 吉村 哲志(高14回卒) 元浜松市議会議員



●瑞宝小綬章

- ▼教育功勞 江間 秀明(高21回卒) 元公立高等学校校長

令和3年春叙勲

●旭日双光章

- ▼地方自治功勞 伊東 真英(高22回卒) 元静岡県細江町長

●瑞宝小綬章

- ▼郵政事業功勞 大石 勝(高17回卒) 元浜松東郵便局長

令和3年度外務大臣表彰 おめでとつじやいます

- ▼日本とインドネシアとの相互理解促進に貢献 折下(旧姓加藤) 定夫(高18回卒)

PCやスマホで 西高同窓会HPを!

浜松西高同窓会の公式サイトから同窓会報誌をご覧いただけます。又、高32回卒以上の方には郵送いたします。予めご了承くださいませ。

<https://hamanishi.org/>



同窓生の活躍を お寄せください!

卒業生の活動の様子を浜松西高同窓会のホームページ、次号の同窓会報にてご紹介いたしますので、お気軽にご連絡ください。同窓会事務局は祝日を除く毎週火曜午前10時〜12時まででは事務員の長尾さん、山口さんが対応します。それ以外はファックス、メールまたは留守番電話に、連絡先とメッセージを録音してください。

郵送 連絡先

〒432-8038 浜松市中区西伊場町3-1
▶TEL&FAX… 053-456-0662(同窓会専用)
▶E-MAIL …… hama24@hamanishi.org



静岡県立浜松西高等学校同窓会

2022 新春の集い 記念誌

2022年1月発行、限定数にて配布予定。
詳細は近日中に同窓会ホームページにてお知らせ致します。

浜松西高53回卒同窓会幹事会

〒432-8038 浜松市中区西伊場町3-1
FAX: 053-533-3657 MAIL: access.hamanishi53@gmail.com



2022年新春の集い
メインテーマ「誇(ほこり)」

